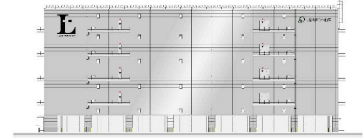


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)LOGIFRONT厚木新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県厚木市上依知字上ノ原3025番	構造	SRC造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,800時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2022年9月30日
敷地面積	9,910 m <sup>2</sup>	作成者	大末建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	4,094 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月3日
延床面積	20,198 m <sup>2</sup>	確認者	大末建設株式会社一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

#### LR 環境負荷低減性

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	耐用性・信頼性、対応性・更新性、エネルギー、資源・マテリアル、を中心に配慮がなされた計画である。	その他 特になし。
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 ・階高のゆとりにおいて、階高3.9m以上確保している。 ・電気配線の更新性において構造部材や仕上部材を痛めることなく更新が可能。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 対象外	LR2 資源・マテリアル ・節水コマ及び節水型便器の採用 ・躯体と仕上が容易に分別可能	LR3 敷地外環境 ・適切な量の駐車スペースを確保している。 ・指導された規模の雨水流出抑制対策を実施、かつ雨水浸透を任意に実施している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される